

市民対話集会について

2025年（令和7年）7月25日

福山市 企画財政局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

1. 市民対話集会について

(1) 日時・場所

2025年8月9日（土曜日） 14時～16時 広島県民文化センターふくやま 文化交流室

19時～21時 まなびの館ローズコム 中会議室

（※昼と夜に2回開催します。内容は同じです。）

(2) 目的

市民への周知や意見聴取が必要という協議会の意見も踏まえ、市民対話集会を開催することで、福山駅前広場再整備の目的や議論経過を丁寧に説明し、今後の駅前広場再整備の方向性について意見をいただく。

(3) 内容

- ① 事業の説明
- ② 参加者同士の意見交換（意見や疑問の共有）
- ③ 全体対話（質疑応答）

2. 事業の説明内容について

(1) 広場の必要性

○ 駅前広場のポテンシャルを発揮

- 年間1,300万人が利用する福山駅の駅前広場が単に通り過ぎる場となっている。
- 備後圏域の玄関口にふさわしい交通結節機能と都市の魅力とにぎわいを感じられる広場機能をバランスよく調和させる。
- あらゆる世代、特に若者や女性が集い、交流し、にぎわい、そして活性化していく場に変える。

○ 駅周辺を魅力的なエリアに

- 駅前広場を交通結節機能を確保しつつ、「人々が集まり・出会い・交流が生まれる場」に変える。
- 広場に人が集まることで、周辺に出店や起業が起こりやすい状況を生み出し、駅周辺を魅力的なエリアに変えていく。

(2) 全国的な流れ、事例紹介

○ 駅前広場の再整備の事例と整備効果

- 全国の事例を踏まえて、「車中心」から「人中心」の空間への転換が進んでいることを説明
- 駅前広場の再整備により、歩行者通行量の増加や地価の上昇などの効果が出ていることを説明

2. 事業の説明内容について

(3) これまでの意見聴取

- シンポジウム
- アンケート
- 協議会、分科会、デザイン会議
- 実証実験

(4) 南側広場のイメージ、使い方

- イメージパースを作成し、空間のイメージを分かりやすく伝える
- イベントだけでなく、日常的に様々な使い方ができることを伝える

(5) 交通施設配置

- 交通施設配置の検討状況を説明

<市民対話集会でいただいた意見の取扱いについて>

- 市民対話集会でいただいた意見については、まとめて整理したものを、あらためて福山駅前広場協議会にお示しし、議論を行っていく。

本日、委員の皆様からご意見をいただきたいこと

- 市民対話集会の説明内容について、ご意見を
いただきたい